

悪性メラノーマ（犬）

- ▶ ビーグル、10歳、♀
- ▶ 主訴：3ヶ月前に右上唇内側の腫瘤（φ3mm）
- ▶ 第1病日：腫瘤切除OP
- ▶ 病理学検査：無顆粒性メラノーマ（マージン+）、リンパ節や肺への転移（-）
⇒WHOステージ分類 ステージ1
- ▶ 追加治療としてDC-CAT療法を希望（抗癌剤や放射線療法は希望せず）
- ▶ 第14病日：18cc採血⇒DC-CAT培養開始
- ▶ 第28病日：投与1回目（CAT：静脈投与、DC：右下顎リンパ節に接種）
投与1～3回目⇒2週おきに投与
投与4回目～⇒4週おきに投与
※細胞数 DC：2.2～116×10⁵個 CAT：0.5～230×10⁶個

悪性メラノーマ（犬）

- ▶ 第294病日：歯肉腫瘍の再発を確認（採血12回目）
- ▶ 第350病日：腫瘍切除OP（OP時腫瘍φ3mm）
⇒病理学的検査で再発と確認
- ▶ 以降5週ごとの投与を継続
- ▶ 第440病日、投与16回目で継続中
- ▶ 現時点でQOL良好 明らかな再発・転移を認めず
- ▶ 獣医師コメント



腫瘍切除後
(第460病日)

・悪性メラノーマの完全切除後における無再発生存期間は508日というデータに対し、局所切除（マージン+）を行った本症例では無再発生存期間は294日を示した⇒局所切除（マージン+）+DC-CAT療法はクリーンマージンと同レベルの無再発生存期間を示す点で有用性が示唆される

・拡大切除や放射線療法を希望されない症例で術後のDC-CAT併用を検討

・本症例の長期予後に期待

（WHO分類ステージ1：外科単独治療でMST630日⇒経過を追っていく必要性あり）